

令和7年度 地方独立行政法人大阪市博物館機構における
障がい者就労施設等からの物品等の調達方針

(目的)

第1 この方針は、国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律（平成24年法律第50号）第9条第1項の規定に基づき、地方独立行政法人大阪市博物館機構（以下「法人」という。）における障がい者就労施設等からの物品等の調達を総合的かつ計画的に推進するための基本的事項を定めることにより、法人において障がい者就労施設等からの優先的な調達に努めるとともに、受注機会の増大を図る措置を講じることをもって障がい者就労施設等で就労する障がい者の自立の促進を図ることを目的とする。

(用語の定義)

第2 この方針において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 障がい者就労施設等

次のアからカまでの施設等をいう。

ア 障がい者支援施設

イ 地域活動支援センター

ウ 障がい福祉サービス事業（生活介護、就労移行支援又は就労継続支援を行う事業に限る。）を行う施設

エ 障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）に規定する特例子会社

オ 次の①～③のすべてに該当する重度障がい者多数雇用事業所

① 障がい者の雇用数が5人以上

② 障がい者の割合が従業員の20%以上

③ 雇用障がい者に占める重度障がい者の割合が30%以上

カ 在宅就業障がい者及び在宅就業支援団体

(2) 物品等

障がい者就労施設等から調達する物品及び役務の提供をいう。

(3) 共同受注窓口

受注内容に対応可能な複数の障がい者就労施設等にあっせん・仲介する業務を行う機関をいう。

(対象物品等及び対象組織)

第3 法人が調達する物品及び役務を対象とし、法人のすべての組織において取り組むものとする。

(共同受注窓口)

第4 共同受注窓口により調達される物品等については、障がい者就労施設等からの調達に準じた取り扱いとする。

(情報の提供)

第5 法人は、物品等の調達が円滑に行えるよう、調達の推進のために必要な情報を提供することに努める。

(物品等の調達に伴う契約)

第6 法人は、障がい者就労施設等から調達することが可能な物品及び役務の調達において、地方独立行政法人大阪市博物館機構契約規則（以下「契約規則」という。）第15条の規定により随意契約によることができる場合は、予算の適切な執行に配慮し、障がい者就労施設等を経営する者と契約するよう努めるものとする。

(調達目標の設定)

第7 博物館、美術館における業務内容と該当品目等の調達機会について検討し、調達実績件数が1件以上となることを目標とする。

(実績の公表)

第8 法人は、本調達方針に基づき調達目標を定めた物品等について、調達の実績を毎年度集計し、その概要を公表する。

(その他)

第9 物品等の調達における契約手続きについては、契約規則の規定によるものとする。また、この方針に定めるもののほか、この方針の施行について必要な事項は別に定める。